

# 給与支払報告書の作成について

## ① 支払を受ける者

住所: 令和8年1月1日現在の住所を記入してください。

個人番号・氏名・フリガナを記入してください。

## ② 扶養親族関係

「源泉控除対象配偶者」、「控除対象扶養親族の数」及び「16歳未満扶養親族」に記入した方の氏名、フリガナ及び個人番号を記入してください。配偶者の場合は配偶者の合計所得及び配偶者(特別)控除の額の記入も必要です。控除対象配偶者が70歳以上の場合は(昭和31年1月1日以前生まれ)の場合は、「老人」欄に○印を記入してください。

**特定扶養:** 平成15年1月2日～

平成19年1月1日生まれ

※特定扶養親族のうち、合計所得金額が58万円超123万円以下の合計人数を「特親」欄に記入してください。

**老人扶養:** 昭和31年1月1日以前生まれ

※老人扶養が本人又は配偶者の直系尊属で同居している場合は、「内」にその人数を記入してください。

**その他:** 特定扶養及び老人扶養以外の扶養親族

※16歳未満は含みません。16歳未満の扶養親族は、「16歳未満の扶養親族」欄に記入してください。

## 障害者の数

特別: 扶養親族のうち、特別障害者の合計人数を「人」欄に記入してください。特別障害者のうち、本人又は配偶者もしくは本人と生計を一にする親族と同居している方の人数を「内」欄に記入してください。

その他: 扶養親族のうち、その他障害者の合計人数を記入してください。

※障害者の数は、16歳未満の方も含みます。

## ③ 生命保険料の控除額・金額の内訳

生命保険料について、控除額・支払額を該当する欄に記入してください。

## ④ 住宅借入金等特別控除

居住開始年月日・住宅借入金特別控除区分・住宅借入金等特別控除可能額を忘れずに記入してください。借入金の控除区分について、特定取得に該当するものは区分の後ろに(特定)、特別特定取得に該当するものは(特特)と記入してください。

## ⑤ 基礎控除の額

基礎控除の額を記入してください。

## ⑥ 所得金額調整控除額

所得金額調整控除の適用がある場合には、所得金額調整控除の額を記入してください。

支 払 者		支 払 金 額		給与所得控除後の金額 (調整控除後)		所得控除の額の合計額		源 泊 徴 収 税 額	
給 与 支 払 報 告 書 (個人 簡 紹 書)	支 払 を 受 け る 者 住 所	日向市〇〇町〇丁目〇〇-〇〇 コーポ〇〇 ××号		(受給者番号) (個人番号) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 0 1 (役職名) 氏 名 (フリガナ) ヒュウガ タロウ 日向 太郎					
種 別		支 払 金 額		給与所得控除後の金額 (調整控除後)		所得控除の額の合計額		源 泊 徴 収 税 額	
給与等		内 8,530,000		内 6,577,000		内 5,446,000		内 6,600	
(源泉)控除対象配偶者の有無等 老人		配偶者(特別) 控除の額 260,000		控除対象扶養親族の数 (配偶者を除く) 1		16歳未満 扶養親族 の数 1		障害者の数 (本人を除く) 1	
有 住 有		内 260,000		内 1 2 1		内 1 1 1		内 1 1 1	
特定扶養特別控除の額 内 610,000		社会保険料等の金額 内 1,114,000		生命保険料の控除額 内 112,000		地質保険料の控除額 内 50,000		住宅借入金等特別控除の額 内 50,000	
(摘要)									
前職:〇〇産業 令和7年3月31日退職 支払金額 2,843,000円 社会保険料 183,820円 源泉徴収税額 27,050円 (1)日向松子(調整)									
日向 二郎(特親)所得 870,000円									
5 生命保険料の 金額の内訳 新生命保険料 の金額 84,000 円		6 旧生命保険料 の金額 150,000 円		7 介護医療保 険料の金額 12,000 円		8 新個人年金 保険料の金額 28,000 円		9 田舎年金 保険料の金額 100,000 円	
4 住宅借入 金等特別 控除の額 の内訳 1 住宅借入金等 特別控除適用数 50,000 円		1 居住開始年月日 29年8月25日		2 住宅借入金等特別 控除区分(1回目) 1回目		3 住(特定) 4 住宅借入金等 年末残高(2回目) 2回目		5 6 7	
2 (フリガナ) 氏名 日向 花子		1,070,000		1,070,000		1,070,000		1,070,000	
個人番号 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 0 2		5 基礎控除の額 580,000 円		5 基礎控除の額 580,000 円		5 所得金額 調整控除額 3,000 円		5 人以降の控除対象扶養 親族の個人番号 (1)123456789008	
1 (フリガナ) 氏名 日向 一郎		1 (フリガナ) 氏名 日向 小梅		1 (フリガナ) 氏名 日向 小梅		1 (フリガナ) 氏名 日向 小梅		5 人以降の控除対象扶養 親族の個人番号 (1)123456789008	
2 (フリガナ) 氏名 日向 二郎		2 (フリガナ) 氏名 日向 二郎		2 (フリガナ) 氏名 日向 二郎		2 (フリガナ) 氏名 日向 二郎		5 人以降の控除対象扶養 親族の個人番号 (1)123456789008	
3 (フリガナ) 氏名 日向 三郎		3 (フリガナ) 氏名 日向 三郎		3 (フリガナ) 氏名 日向 三郎		3 (フリガナ) 氏名 日向 三郎		5 人以降の控除対象扶養 親族の個人番号 (1)123456789008	
4 (フリガナ) 氏名 日向 竹男		4 (フリガナ) 氏名 日向 竹男		4 (フリガナ) 氏名 日向 竹男		4 (フリガナ) 氏名 日向 竹男		5 人以降の控除対象扶養 親族の個人番号 (1)123456789008	
8 未 成 年 外 国 人 者		9 中途就・退職 就職 年 月 日 退職 年 月 日		10 受 給 者 生 年 月 日 元号 昭和 40 12 1					
支 払 者		個人番号又は 法人番号 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0 9 8 7		(右記めで記載してください。)					
支 払 者		住所(居所) 又は所在地 日向市本町10番5号							
支 払 者		氏名又は名称 株式会社日向報							
						(電話) 0982-52-2111			

## ⑦ 摘要欄

中途退職者の前職分を含める場合、前職の事業所名・退職日・支払金額・社会保険料及び源泉徴収税額を記入してください。記入がない場合、前職分を含めていないものとして住民税を算定します。

また、受給者が休職中の場合は「休職」、丙欄該当者の場合は「丙欄」、退職予定者の場合は「退職予定」と退職予定期日を記入してください。

控除対象扶養親族が5名以上いる場合は、5名以降の方の氏名を記入してください。非居住者の場合は(非居住者)と記入してください。

※丙欄該当者は、継続して同一の雇用主に雇用されない、いわゆる日雇労働者等を指します。

所得金額調整控除の適用がある場合は、該当する要件に応じて次のとおり記入してください。

要件	記入方法
本人が特別障害者	記入不要 ※「本人が障害者」の「特別」欄に○を記入してください。
同一生計配偶者が特別障害者	同一生計配偶者の氏名(同配)
扶養親族が特別障害者	扶養親族の氏名(調整)
扶養親族が年齢 23歳未満	扶養親族の氏名(調整)

ただし、上記「同一生計配偶者」又は「扶養親族」の氏名が「(源泉・特別)控除対象配偶者」欄、「控除対象扶養親族」欄又は「16歳未満の扶養親族」欄に記入されている場合は、記入を省略できます。

特定親族特別控除の適用がある場合は、該当する控除対象扶養親族の氏名及び合計所得金額を記入してください。

## ⑧ 本人該当

受給者本人に該当するものがある場合は、該当する欄に○印を記入してください。

※乙欄該当者は、2カ所以上から給与の支払いを受けており、他の事業所で年末調整をしている人等を指します。

## ⑨ 中途就・退職

就職・退職の異動がある場合には、該当するものに○印を記入し、就職又は退職日を記入してください。就職及び退職の履歴がある場合は、最新の履歴について記入してください。

※記載が無いと、退職者でも在職扱いとなり特別徴収になる場合があります。

例: 令和7年4月1日に就職したが、12月20日に退職した。→退職に○印を記入し、退職した日付を記入。

## ⑩ 元号

受給者の生年月日の元号を漢字(「明治」、「大正」、「昭和」、「平成」又は「令和」)で記入してください。